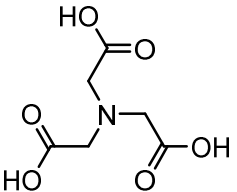
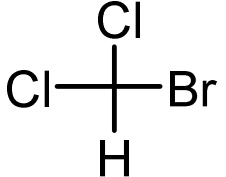
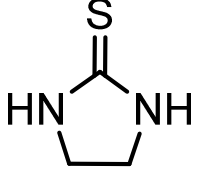
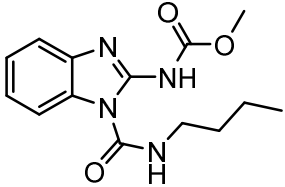
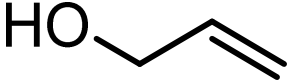
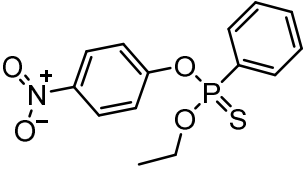
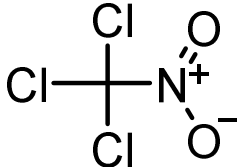
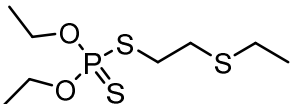
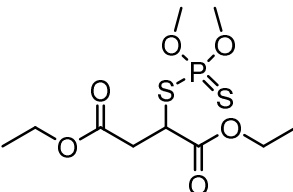
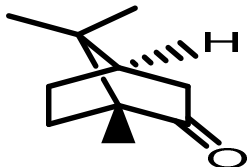


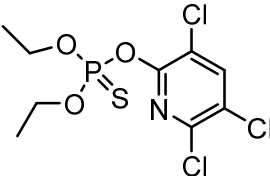
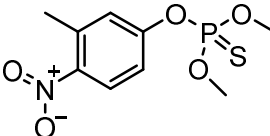
平成 27 年有害物ばく露作業報告対象物質の情報

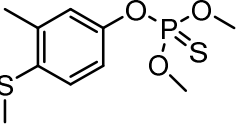
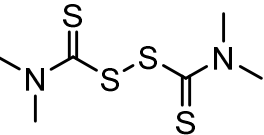
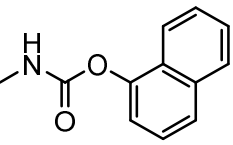
No.	名称、CASNo、構造式	物理・化学的性質 (※1)	用途及び製造量 等	発がん性 評価区分等 (※5)	その他の有害性 (※5) (GHS 分類が区分1のもの)	許容濃度等 (※3) (※4)	備 考
1	ニトリロ三酢酸 (CAS 139-13-9) 	無臭、白色の結晶 性粉末 融点 230-235℃ (分解) 沸点 167℃ (13mmHg) 蒸気圧 0.7×10^{-8} mmHg (25℃)	工業用洗剤・洗浄剤 のビルダー (洗浄力 を増す働きをもつ添 加物)、硬水軟化剤や キレート剤 (※2) 排出量 87 kg(平成 23 年度) (※5)	IARC 73 2B (ヒトに 対して発がんの可 能性がある) NTP R (ヒト発がん 性があると合理的 に予測される物質)	—	日本産衛学会 未設定 ACGIH 未設定	化審法優先評価化学物質 安衛令別表第9 第 419 号 PRTR 法:第1 種指定化学 物質
2	ブロモジクロロメタン(CAS 75-27-4) 	無色の液体 融点 -55℃ 沸点 88.4-88.6℃ 蒸気圧 6664Pa(20℃) (50mmHg)	水中の有機物質が浄 水処理過程で消毒の ために加えられる塩 素剤と反応して生じ るトリハロメタン類 の一種 (※2) 排出量 60t(平成 23 年度) (※5)	IARC 52,71 2B EPA B2 (おそらく ヒト発がん性物質 (動物での十分な 証拠あり)) NTP R (ヒト発がん 性があると合理的 に予測される物質)	—	日本産衛学会 未設定 ACGIH 未設定	安衛令別表第9 第 501 号 PRTR 法:第1 種指定化学 物質
3	2-イミダゾリジンチオン (CAS 96-45-7) 	アミン臭の白色～ 淡緑色の固体 融点 203-204℃ 沸点 347.18℃ 蒸気圧 0.00501mmHg (25℃)	有機ゴム薬品 (加硫 促進剤) (※5) 製 造 ・ 輸 入 数 量 1000t 未満(2012 年 度) (※5)	IARC 79 3 (ヒトに 対する発がん性に ついて分類できな い) NTP R (ヒト発がん 性があると合理的 に予測される物質)	皮膚感作性 生殖毒性 特定標的臓器・全身毒性 反復ばく露 (甲状腺)	日本産衛学会 未設定 ACGIH 未設定	安衛令別表第9 第 56 号 PRTR 法:第1 種指定化学 物質

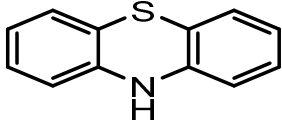
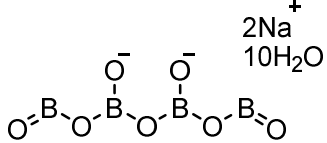
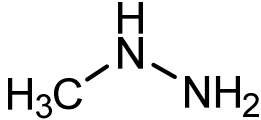
No.	名称、CASNo、構造式	物理・化学的性質 (※1)	用途及び製造量 等	発がん性 評価区分等 (※5)	その他の有害性 (※5) (GHS 分類が区分1のもの)	許容濃度等 (※3) (※4)	備 考
4	N—[1—(N—ノルマル—ブ チルカルバモイル)—1H— 2—ベンゾイミダゾリル] カ ルバミン酸メチル (別名ベノ ミル) (CAS 17804-35-2) 	特異臭のある白色 の固体 (以下※5) 融点 140℃ 沸点 — 蒸気圧 (※1) 5.0×10^{-6} Pa 以 下 (25℃)	農薬(殺菌剤) (※5) 排 出 量 推 計 114t(平成 23 年度) (※5)	情報なし	皮膚感作性 生殖細胞変異原性 生殖毒性	日本産衛学会 未設定 ACGIH TWA 1 mg/m ³ ⁽¹⁾ DSEN; A3 (2014 年版)	安衛令別表第9 第 436 号 PRTR 法:第1 種指定化学 物質
5	アリルアルコール (CAS 107-18-6) 	刺激臭のある無色 の液体 融点 —129℃ 沸点 97.4℃ 蒸気圧 26mmHg (25℃)	アリルグリシジルエ ーテル、エピクロロ ヒドリンの有機合成 原料 (※2) ジアリルフタレート 樹脂・医薬・香料・ 難燃化剤などの原料 (※5) 排出量 4.4t(平成 23 年度) (※5)	ACGIH A4 (ヒトに 対する発がん物質 として分類できな い)	急性毒性 (経皮) 特定標的臓器・全身毒性 単回ばく露 (中枢神経系、 肺、肝臓、腎臓) 反復ばく露 (腎臓、肝臓)	日本産業衛生学会 1ppm 2.4mg/m ³ (経皮吸収) ACGIH TWA 0.5ppm Skin; A4 (2014 年版)	安衛令別表第9 第 27 号 PRTR 法:第1 種指定化学 物質

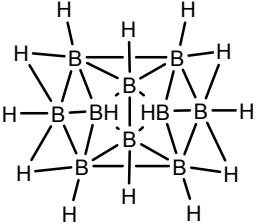
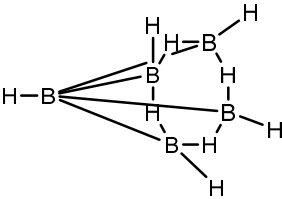
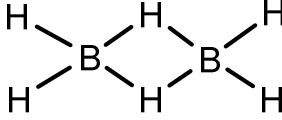
No.	名称、CASNo、構造式	物理・化学的性質 (※1)	用途及び製造量 等	発がん性 評価区分等 (※5)	その他の有害性 (※5) (GHS 分類が区分1のもの)	許容濃度等 (※3) (※4)	備 考
6	エチルパラニトロフェニルチオノベンゼンホスホネイト (別名 EPN) (CAS 2104-64-5) 	特徴的な臭気のある黄色～茶色の結晶性粉末 融点 36℃ 沸点 データなし 蒸気圧 <0.01Pa(25℃)	農薬(殺虫剤)(※5) 排出量 62t(平成23年度)(※5)	ACGIH A4 (ヒトに対する発がん物質として分類できない)	急性毒性 (吸入: 粉塵、ミスト) 特定標的臓器・全身毒性 単回ばく露 (神経系) 反復ばく露 (神経系)	日本産衛学会 未設定 ACGIH TWA 0.1mg/m ³ ⁽¹⁾ Skin: A4; BEI _A (2014 年版)	安衛令別表第9第67号 PRTR 法:第1種指定化学物質
7	オクタン(CAS 111-65-9) 	特異臭のある液体 融点 -56.5℃ 沸点 125.6℃ 蒸気圧 1879Pa(25℃) (14.1mmHg)	標準燃料・オクタン 価測定試薬 (※5) 製造・輸入数量 5000t 以上 6000t 未満(2012年度)(※5)	情報なし	特定標的臓器・全身毒性 単回ばく露 (中枢神経系) 吸引性呼吸器有害性	日本産衛学会 300ppm ACGIH TWA 300ppm (2014 年版)	安衛令別表第9第115号
8	クロロピクリン (CAS 76-06-2) 	刺激臭があり、わずかに油状、無色の液体 融点 -64℃ 沸点 112℃ 蒸気圧 2.7kPa (20℃)	農薬(殺虫剤)(※5) 排出量 6826t(平成23年度)(※5)	ACGIH A4 (ヒトに対する発がん物質として分類できない)	急性毒性 (吸入: 蒸気) 眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性 特定標的臓器・全身毒性 単回ばく露 (神経系、呼吸器、血液系) 反復ばく露 (呼吸器、中枢神経系)	日本産衛学会 0.1ppm ACGIH TWA 0.1ppm; A4 (2014 年版)	安衛令別表第9第153号 PRTR 法:第1種指定化学物質

No.	名称、CASNo、構造式	物理・化学的性質 (※1)	用途及び製造量 等	発がん性 評価区分等 (※5)	その他の有害性 (※5) (GHS 分類が区分1のもの)	許容濃度等 (※3) (※4)	備 考
9	ジチオリン酸 O, O—ジエチル—S—(2—エチルチオエチル) (別名 ジスルホトン) (CAS 298-04-4) 	特異臭のある無色 油状液体 融点 < -20℃ 沸点 128℃ (1.3hPa) 蒸気圧 0.0072Pa(20℃)	農薬(殺虫剤)(※5) 排出量 132t(平成 23 年度)(※5)	ACGIH A4 (ヒトに 対する発がん物質 として分類できな い)	急性毒性(経口、経皮、吸入： 粉塵、ミスト) 特定標的臓器・全身毒性 単回ばく露(神経系) 反復ばく露(神経系)	日本産衛学会 未設定 ACGIH TWA 0.05mg/m ³ (IFV) Skin; A4; BEI _A (2014 年版)	安衛令別表第9 第 265 号 PRTR 法:第1 種指定化学 物質
10	ジチオリン酸 O, O—ジメチル—S—1, 2—ビス(エトキシカルボニル)エチル (別名マ ラチオン) (CAS 121-75-5) 	特有の臭気のある 無色の液体 融点 2.85℃ 沸点 156-157℃ (0.7mmHg) 蒸気圧 0.0053Pa(30℃)	農薬(殺虫剤)(※5) 排出量 118t(平成 23 年度)(※5)	IARC 30, Sup 7 3 (ヒトに対する発が ん性について分類 できない) ACGIH A4 (ヒトに 対する発がん物質 として分類できな い)	皮膚感作性 特定標的臓器・全身毒性 単回ばく露(神経系)	日本産衛学会 10mg/m ³ 経皮吸収 ACGIH TWA 1mg/m ³ (IFV) Skin; A4; BEI _A (2014 年版)	安衛令別表第9 第 268 号 PRTR 法:第1 種指定化学 物質
11	しょう脳(CAS 76-22-2) 	特徴臭のある無色 又は白色の固体 融点 180℃ 沸点 204℃ 蒸気圧 0.027kPa(20℃)	セルロイド、フィル ムの可塑剤 (※5) 製造・輸入量 100t 以上 1000t 未満 (経 産省実態調査結果： 平成 19 年度)	ACGIH A4 (ヒトに 対する発がん物質 として分類できな い)	特定標的臓器・全身毒性 単回ばく露(中枢神経系) 反復ばく露(神経系、肝臓)	日本産衛学会 未設定 ACGIH TWA 2ppm, STEL 3ppm,; A4 (2014 年版)	安衛令別表第9 第 310 号

No.	名称、CASNo、構造式	物理・化学的性質 (※1)	用途及び製造量 等	発がん性 評価区分等 (※5)	その他の有害性 (※5) (GHS 分類が区分1のもの)	許容濃度等 (※3) (※4)	備 考
12	チオりん酸 O, O—ジエチル—O—(3, 5, 6—トリクロロ—2—ピリジル) (別名クロルピリホス) (CAS 2921-88-2) 	白色結晶固体 融点 42.0℃ 沸点 160℃で分解 蒸気圧 2.66×10 ⁻³ Pa (25℃)	農薬(殺虫剤)(※5) 排出量 74t(平成23年度)(※5)	EPA グループ E (ヒトに対する発がん性がないという証拠がある) ACGIH A4 (ヒトに対する発がん物質として分類できない)	特定標的臓器・全身毒性 単回ばく露(神経系) 反復ばく露(神経系、副腎)	日本産衛学会 未設定 ACGIH TWA0.1mg/m ³ (IFV) Skin: A4; BEI _A (2014年版)	安衛令別表第9第346号 PRTR法:第1種指定化学物質
13	チオりん酸 O, O—ジメチル—O—(3—メチル—4—ニトロフェニル) (別名フェニトロチオン) (CAS 122-14-5) 	淡黄色透明液体 (非粘性) 融点 3.4℃ 沸点 210℃付近から分解(窒素雰囲気下) 蒸気圧 1.57×10 ⁻³ Pa (25℃)	農薬(殺虫剤)(※5) 排出量 501t(平成23年度)(※5)	EPA グループ E (ヒトに対する発がん性がないという証拠がある)	特定標的臓器・全身毒性 単回ばく露(神経系) 反復ばく露(神経系)	日本産衛学会 1mg/m ³ 経皮吸収 ACGIH 未設定(2014年版)	安衛令別表第9第349号 PRTR法:第1種指定化学物質

No.	名称、CASNo、構造式	物理・化学的性質 (※1)	用途及び製造量 等	発がん性 評価区分等 (※5)	その他の有害性 (※5) (GHS 分類が区分1のもの)	許容濃度等 (※3) (※4)	備 考
14	チオリン酸 O, O—ジメチル—O—(3—メチル—4—メチルチオフェニル) (別名フェンチオン) (CAS 55-38-9) 	僅かににんにく臭 のある無色～黄色 の液体 融点 7.5℃ 沸点 90℃ (1Pa) 蒸気圧 3.9 mPa(20℃)	農薬(殺虫剤)(※5) 排出量 62t(平成 23 年度)(※5)	ACGIH A4 (ヒトに 対する発がん物質 として分類できな い)	特定標的臓器・全身毒性 単回ばく露(神経系) 反復ばく露(神経系)	日本産衛学会 0.2mg/m ³ 経皮吸収 ACGIH 0.05mg/m ³ (IFV) Skin; A4; BEI _A (2014 年版)	安衛令別表第9 第 350 号 PRTR 法:第1 種指定化学 物質
15	テトラメチルチウラムジス ルフィド(別名チウラム) (CAS 137-26-8) 	白色結晶 融点 154℃ 沸点 242℃ 蒸気圧 1.73×10 ⁻⁵ mmHg (25℃)	農薬(殺菌剤), 有機 ゴム薬品(加硫促進 剤)(※5) 製 造 ・ 輸 入 数 量 1000t 以上 2000t 未 満(2012年度)(※5) 排出量 249t(平成 23 年度)(※5)	IARC 53 3 (ヒトに 対する発がん性に ついて分類できな い) ACGIH A4 (ヒトに 対する発がん物質 として分類できな い)	皮膚感作性 生殖細胞変異原性 特定標的臓器・全身毒性 単回ばく露(神経系) 反復ばく露(甲状腺、肝臓)	日本産衛学会 0.1mg/m ³ ACGIH 0.05mg/m ³ (IFV) DSEN, A4 (2014 年版)	安衛令別表第9 第 372 号 PRTR 法:第1 種指定化学 物質
16	1—ナフチル—N—メチル カルバメート(別名カルバ リル)(CAS 63-25-2) 	無臭の白色結晶 融点 142℃ 沸点 210±2℃ 蒸気圧 4.16 × 10 ⁻⁵ Pa (23.5℃)	農薬(殺虫剤)(※5) 排出量 76t(平成 23 年度)(※5)	IARC 12,Sup7 3 EU 3 ACGIH A4 (ヒトに 対する発がん物質 として分類できな い)	特定標的臓器・全身毒性 単回ばく露(神経系)	日本産衛学会 5mg/m ³ 経皮吸収 ACGIH TWA0.5mg/m ³ (IFV) Skin; A4; BEI _A (2014 年版)	安衛令別表第9 第 410 号 PRTR 法:第1 種指定化学 物質

No.	名称、CASNo、構造式	物理・化学的性質 (※1)	用途及び製造量 等	発がん性 評価区分等 (※5)	その他の有害性 (※5) (GHS 分類が区分1のもの)	許容濃度等 (※3) (※4)	備 考
17	フェノチアジン (CAS 92-84-2) 	微臭の黄色結晶 融点 185.1℃ 沸点 371℃ 蒸気圧 8.9 × 10 ⁻⁷ mmHg (25℃)	重合抑制剤, 酸化防 止剤 (※5) 製 造 ・ 輸 入 数 量 1000t 以上 2000t 未 満(2012年度)(※5)	情報なし	特定標的臓器・全身毒性 単回ばく露 (肝臓、腎臓、 血液、神経系、循環器系)	日本産衛学会 未設定 ACGIH TWA 5mg/m ³ Skin (2014 年版)	安衛令別表第9 第 473 号
18	ほう酸ナトリウム (十水和 物) (CAS 1303-96-4) 	白色結晶又は結晶 性粉末 融点 75℃ 沸点 320℃ 蒸気圧 データなし	ほうろう鉄器・ガラ ス・陶磁器・顔料原 料, コンデンサー用 電極材 (※5) 排出量 4440t(ほう 素化合物) (平成 23 年度) (※5)	ACGIH A4 (ヒトに 対する発がん物質 として分類できな い)	特定標的臓器・全身毒性 単回ばく露 (腎臓、神経系、 呼吸器) 反復ばく露 (神経系、腎臓、 呼吸器)	日本産衛学会 未設定 ACGIH TWA 2mg/m ³ ⁽¹⁾ STEL 6mg/m ³ ⁽¹⁾ A4 (ホウ酸化合物 (無機)・2014 年版)	安衛令別表第9 第 544 号 PRTR 法:第1 種指定化学 物質
19	メチルヒドラジン (CAS 60-34-4) 	特異臭のある無色 吸湿性液体 融点 -52.4℃ 沸点 87.5℃ 蒸気圧 4.8 kPa (20℃)	農薬・医薬中間体, 高分子添加剤, 写真 薬 (※5) 製 造 ・ 輸 入 数 量 1000t 未満(2012 年 度) (※5)	ACGIH A3 (動物実 験では発がん性が 確認されたが、ヒト の発がん性との関 連は未知)	急性毒性 (吸入: 蒸気) 特定標的臓器・全身毒性 単回ばく露 (血液、神経系) 反復ばく露 (血液、肝臓、 腎臓、呼吸器、副腎)	日本産衛学会 未設定 ACGIH TWA 0.01ppm, Skin:A3 (2014 年版)	安衛令別表第9 第 587 号

No.	名称、CASNo、構造式	物理・化学的性質 (※1)	用途及び製造量 等	発がん性 評価区分等 (※5)	その他の有害性 (※5) (GHS 分類が区分1のもの)	許容濃度等 (※3) (※4)	備 考
20	デカボラン (CAS 17702-41-9) 	刺激臭のある無色 ～白色結晶 融点 99.6℃ 沸点 213℃ 蒸気圧 6.65Pa (25℃)	触媒, ロケット燃料 酸化剤, ゴム加硫剤, 還元剤 (※5) 排出量 4440t(ほう 素及び化合物) (平成 23 年度) (※5)	情報なし	急性毒性 (吸入: 蒸気) 特定標的臓器・全身毒性 単回ばく露 (中枢神経系) 反復ばく露 (中枢神経系)	日本産衛学会 未設定 ACGIH TWA 0.05ppm STEL 0.15ppm Skin (2014 年版)	再告示物質 (1 回目 23 年報告) 安衛令別表第9 第 351 号
21	ペンタボラン (CAS 19624-22-7) 	刺激臭のある無色 の液体 融点 -47℃ 沸点 60℃ 蒸気圧 22.8kPa (20℃)	ホウ素イオン注入 用, ミサイル推進薬 原料 (※5) 排出量 4440t(ほう 素化合物) (平成 23 年度) (※5)	情報なし	急性毒性 (吸入: 蒸気) 眼に対する重篤な損傷性/ 眼刺激性 特定標的臓器・全身毒性 単回ばく露 (中枢神経系) 反復ばく露 (中枢神経系、 肝臓)	日本産衛学会 未設定 ACGIH TWA 0.005ppm STEL 0.015ppm (2014 年版)	再告示物質 (1 回目 23 年報告) 安衛令別表第9 第 542 号
22	ジボラン(CAS 19287-45-7) 	特徴的な臭気のある 無色の圧縮性ガ ス 融点 -165℃ 沸点 -92℃ 蒸気圧 29900Pa (-112℃)	半導体ガス用, 不純 物拡散剤, イオン注 入用 (※5) 排出量 4440t(ほう 素化合物) (平成 23 年度) (※5)	情報なし	急性毒性 (吸入: ガス) 皮膚腐食性/刺激性 眼に対する重篤な損傷性/ 眼刺激性 特定標的臓器・全身毒性 単回ばく露 (呼吸器系) 反復ばく露 (呼吸器系、神 経系)	日本産衛学会 0.01ppm ACGIH TWA 0.1ppm (2014 年版)	再告示物質 (1 回目 24 年報告) 安衛令別表第9 第 283 号

No.	名称、CASNo、構造式	物理・化学的性質 (※1)	用途及び製造量 等	発がん性 評価区分等 (※5)	その他の有害性 (※5) (GHS 分類が区分1のもの)	許容濃度等 (※3) (※4)	備 考
23	イソシアン酸メチル (CAS 624-83-9) <chem>OC=[N+]</chem>	刺激臭のある揮発性、無色の液体 融点 -80℃ 沸点 43-45℃ 蒸気圧 54kPa (20℃)	医薬・農薬中間体(※5) 製造・輸入量 不明	情報なし	急性毒性 (経皮) 急性毒性 (吸入：蒸気) 眼に対する重篤な損傷性／ 眼刺激性 呼吸器感作性 皮膚感作性 生殖毒性 特定標的臓器・全身毒性 単回ばく露 (呼吸器系)	日本産衛学会 未設定 ACGIH TWA 0.02ppm STEL 0.06ppm Skin: DSEN (2014 年版)	再告示物質 (1 回目 25 年 報告) 安衛令別表第 9 第 41 号

※1 職場のあんぜんサイト (厚生労働省 HP) のモデル SDS 情報

※2 環境省化学物質ファクトシート

※3 日本産業衛生学会の許容濃度の勧告 (2013 年度)

※4 2014 ACGIH 化学物質の TLVs (ACGIH のばく露限界値)

TWA : 8 時間時間加重平均, STEL : 短時間ばく露限界, (I) : インハラブル粒子, (IFV) : インハラブル粒子及び蒸気,

Skin : 経皮吸収, SEN : 感作性, DSEN : 皮膚感作性, BEIA : 生物学的ばく露指標あり (アセチルコリンエステラーゼ阻害農薬)

A3,A4 : 発がん性分類 (発がん性の欄参照)

※5 化学物質総合情報提供システム (CHRI P)